

尾道市立浦崎中学校第3学年 保健体育科学習指導案

指導者：平田 克志

保健編4章 健康な生活と病気の予防「喫煙の害と健康」

新編新しい保健体育 東京書籍

第3学年 男子5名 女子5名 計10名

本単元で育成する資質・能力

主体的に学ぶ力 思考力・表現力 つながる知識 かかわる力

学習指導要領の目標

保健分野

個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

喫煙については、たばこの煙の中にはニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現われること、また、常習的な喫煙により、肺がんや心臓病など様々な病気を起こしやすくなることを理解できるようにする。特に未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、ニコチンの作用などにより依存症になりやすいことを理解できるようにする。

教科等における見方・考え方

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連づけること。

単元について

単元観：

喫煙については、たばこの煙の中にはニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現われること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病、COPDなど様々な病気を起こしやすくなることを理解できるようにする。特に、未成年者の喫煙については、身体に大きな影響を及ぼし、ニコチンの作用などにより依存性になりやすいことを理解できるようにする。

また、未成年時に喫煙・飲酒・薬物の誘いがあっても断ることが出来たり、生涯を通じて喫煙・飲酒・薬物に依存せず、自らの健康を管理できるようにするために、人体に与える影響について理解できるようにする。

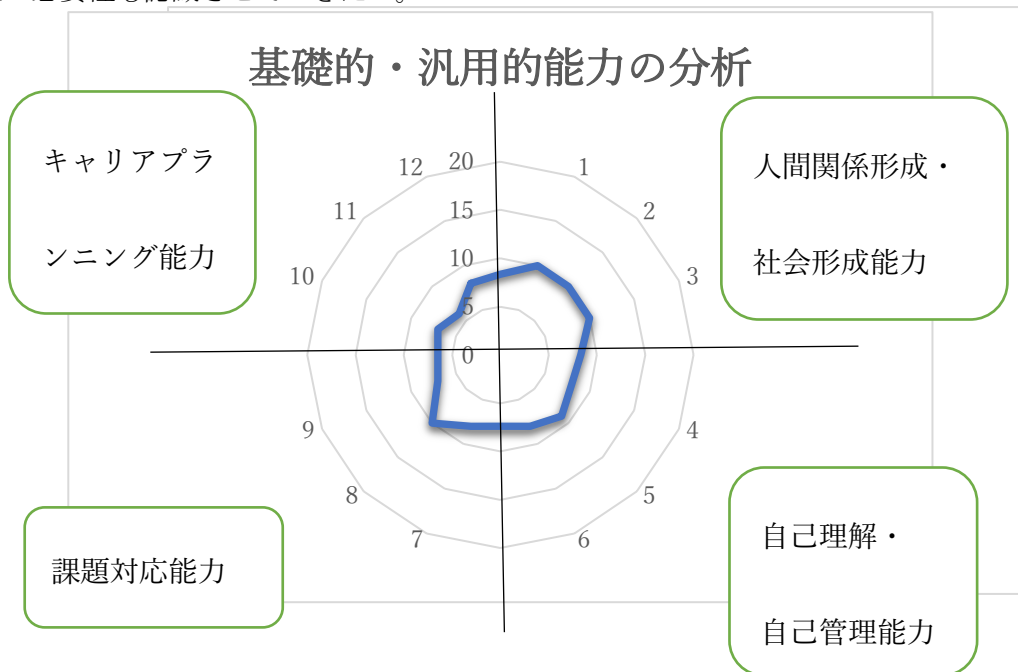
生徒観：

本学級の生徒は、どの授業も意欲的に取り組むことができおり、積極的な挙手により、内容のある発表もすることができる。また規範意識も高く、入学以降、校則違反や社会のきまりを破って指導した事も無い。喫煙についても未成年者は法律で禁止されていること、健康に悪影響を与えることは理解しており、今現在たばこに手を出している生徒はいないと思われるが、身近に喫煙者がいたり、今後たばこに接する機会があると思われるので、中学生の時期に喫煙の害を学習することはとても重要なことである。

指導観：

たばこが健康に悪影響を及ぼすことはよく言われていることであり、未成年者の喫煙が法律で禁止されていることも生徒は知っている。「たばこは良いか悪いか?」「たばこを吸いたいのか?」のアンケートに、その日出席の全員が「悪い」「吸いたくない」と答えている。

しかし、たばこの害の具体的な知識はまだ十分でないと考えられる。また、喫煙は他人に迷惑をかける場合もあること、喫煙者はたばこを吸わない人の嫌煙権を守ること、喫煙者のモラル向上の必要性も認識させていきたい。



基礎的・汎用的能力の育成（キャリア教育）に係る生徒アンケートを実施したところ、「キャリアプランニング能力」がやや低い。進路学習においても早くから中学校卒業後の進路を見据えて学習している生徒もいれば、自分のこととして将来を考えることができにくい生徒もいる。

そこで、本時に学習したことが生涯に渡って生かされるよう個人思考やグループで協力しながら考えることで、仲間と共に一つの課題に意見交換し合い、取り組むことを経験させたい。

浦崎15年連携教育としてのつながり（単元構想図）

小学校	中学校3年生
○喫煙、飲酒、薬物乱用が健康へ及ぼす影響について調べる。	○喫煙、飲酒、薬物乱用が健康へ及ぼす影響について理解する。 ○喫煙が社会に与える影響について理解する。 ○喫煙、飲酒、薬物を誘われた時の対処法を身につける。

単元の目標と評価基準

単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について、関心を持ち、意欲的に学習取り組むことができるようにする。 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について、知識を活用して科学的に考え判断し、適切な対処方法を考えることができる。 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について、課題解決に役立つ基礎的な事項やそれらと生活の関わりを理解することができる。 		
ア 健康安全についての 関心・意欲・態度	イ 健康安全についての 思考・判断	ウ 健康安全についての 知識・理解	
①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について関心を持ち、自分たちの生活を振り返ったりするなど、意欲的に学習に取り組もうとしている。 ②喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習に意欲的に取り組もうとしている。	①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、それらに関する資料等で調べたことをもとに課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。	①喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、身体に与える影響を正しく理解し、自分の生活に役立つ知識を書き出している。	

指導と評価の計画（全5時間）

次	学習内容					評価方法
		関	思	知	評価規準	
1 本 時	単元を貫く課題 <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙，飲酒，薬物の害を理解する。 ・誘いを断ることができるようにする。 ・生涯を通じて，依存せず自らの健康を管理できる資質や能力を身に付ける。 ○喫煙の害と健康 <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙による健康への影響を知る。 ・未成年者の喫煙の害や喫煙開始が早ければ早いほど依存症になりやすいことを知る。 ・喫煙が周りへの人などへの影響があることを知る。 情報の収集	○	○	○	ウ① イ①	観察 ワークシート 期末試験

2	○飲酒の害と健康 ・飲酒による健康への影響を知る。 ・未成年からの飲酒は依存症になりやすいことや、急性中毒などを起こすことを知る。 情報の収集	○	○	ウ① ア①	観察 ワークシート 期末試験
3	○薬物乱用の害と健康 ・薬物乱用とはどのようなことかを知る。 ・覚醒剤や大麻が心身への与える悪影響について知る。 情報の収集		○	ウ① イ①	観察 ワークシート 期末試験
4	○薬物乱用の社会への影響 ・薬物乱用が社会へ悪影響を与えることを知る。 情報の収集	○		ア②	観察 ワークシート 期末試験
5	○喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 ・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけは、個人や周りの影響があることを知る。 ・喫煙・飲酒・薬物に手を出さないための、効果的な断り方について考える。 まとめ	○	○	ア② ア①	観察 ワークシート 期末試験

本時の学習

(1) 本時の目標

たばこの害を知り、たばこを禁止することができるか考える。

(2) 準備物

パソコン、プロジェクター、ワークシート（班＝模造紙　個人＝プリント）

(3) 学習の展開

学習活動	指導の留意点や指導事項 (○留意点 ☆言語活動 ●「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て) (◆支援を要する生徒への指導の手立て)	評価規準[観点] ★資質・能力(評価方法)
<導入>		
1 たばこの写真提示	○「たばこは百害あって一利なし」 成人男性 成人女性	
2 日本人の喫煙率提示	○昭和40年 82.3% 15.7% 平成30年 27.8% 8.7%	
3 本時のめあて提示	○喫煙率は下がっているものの、たくさんの有害物質を含むたばこが売られている。たばこの害を知った上で、世の中から無くすることができるか考えさせる。	

たばこの害を知り、たばこを禁止することができるか考える。

<p><展開></p>		
<p>4-1 たばこの害記入 ☆個人思考</p>	<p>○ワークシートを配布。めあて記入後、たばこには何種類の有害物質が含まれるか、その中の三大有害物質を予想させる。</p>	
<p>4-2 班討議 ☆集団思考</p>	<p>○模造紙を配り、班内で出た意見を記入させる。密にならないよう注意する。 ○班討議後、パワーポイントで提示。 ○パワーポイントへ正解を提示し、ワークシートへ記入させる。</p>	
<p>5 全体交流</p>	<p>200種類以上の有害物質 ニコチン 心臓への負担 依存性 タール 肺の働き低下 発がん物質 一酸化炭素 酸素運搬能力の低下</p>	
<p>6 たばこの害の影響</p>	<p>○ワークシートに記入させる。 ○主流煙と副流煙 がん死亡率 ○未成年者への影響</p>	
<p>7-1 たばこを禁止することができるか考える。 ☆個人思考</p>	<p>○ワークシートへ記入させる。 ○禁止できるか、できないか、その理由も記入する。</p>	<p>★思考力 さまざまな角度から考えてワークシート記入している。(思考力) 予想される生徒の反応 できる ○たばこには害があるので ですぐ禁止すべきだ。 できない ○税金収入が多いのです ぐには禁止できない。</p>

7-2 班討議 ☆集団思考	○意見交流から、禁止できるか、できないか班でまとめる。 ○模造紙に班の意見を記入する。	
8 全体交流	○模造紙をスクリーンに提示する。 ・禁止したら闇で高額で売られるなど犯罪が多発する。 ・多額の税収入があるため簡単に禁止にできない。	
9 まとめの提示	○パワーポイントで提示する。	
簡単には禁止することができないため、喫煙者のモラルが求められる。		
10 振り返り		

(5) 板書計画

別途パワーポイント資料

単元を貫く課題の設定等における工夫（興味関心を高めるために）

(1) 設定した「課題」

単元を貫く課題

- ・喫煙，飲酒，薬物の害を理解する。
- ・誘いを断ることができるようにする。
- ・生涯を通じて，依存せず自らの健康を管理できる資質や能力を身に付ける。

(2) 課題設定や提示方法における工夫

課題設定においては，喫煙，飲酒，薬物の害の基本的な知識を学習し，生涯を通じて，自らの健康とのつながりを考えさせることを意識した。

3年生は善悪の判断がきちんとつけられ，規範意識も高いが，この姿勢を中学校卒業後も続けられるよう基本的な知識を身に付けさせ，断る勇気を持たせられるようにしたい。

(3) 「単元を貫く課題」をできるようにするための特徴的な工夫

単元計画

次	内容
1	未成年者への影響，法律で禁止できるか考える。
2	百薬の長とも言われながら，依存性も高いことを考える。
3	1度でも乱用と呼ばれ，心身への悪影響が大きいことを考える。
4	薬物乱用が社会に与える影響も大きいことを日本の現状から考える。
5	喫煙・飲酒・薬物を断る疑似体験をする。